



田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会広報誌・平成 26 年 8 月号

# 猿ヶ石川通信

## Vol.8

- 第 1 面 トピックス 田瀬湖 E ボートレース大会開催
- 第 2 面 ニュースファイル 第 2 回マイリバー猿ヶ石、川再生に向け県立大と協働研究
- 第 3 面 インタビュー 田瀬激流太鼓会長：多田 征三さん、野鳥コーナー
- 第 4 面 インフォメーション 田瀬みのりまつり、川の生き物調べ、田瀬ダム移転者のつどい、他

### 猿ヶ石川流域トピックス



レース前に勇壮な激流太鼓が湖に響き渡った。

田瀬ダム完成 60 周年記念プロジェクト

## 田瀬湖 E ボートレース大会開催

### 地元田瀬地区のチームが 2 連覇し、宮守町婦人会 チームもカップの衣装でパフォーマンス賞を！

田瀬激流太鼓が 大会を盛り上げる

田瀬湖ウォータースポーツフェスティバル 2 日目となる 8 月 3 日(日)、東和 B & G 海洋センターにて E ボートレース大会が開催されました。

当日は湖畔でのスポーツには絶好の快晴。朝から真夏の太陽がサンサンと照りつける中、午前 9 時に

開会行事が始まりました。今年の参加は 12 チーム。参加者を代表して、子供会などで参加した少年の選手宣誓などが行われた後、今年も田瀬ダム完成 60 周年というところで、地元の「田瀬激流太鼓」が勇壮な太鼓を演奏しました。

#### 決勝では 4 チームが 白熱のレースを展開

開会行事を終えると、いよいよレースの開始。E ボートという手こぎボートにこぎ手 8 名、舵取り 1 名、号令係 1 名の計 10 名が乗り込み、往復 300 メートルのコースでレースを行います。予選は参加 12 チームが 2 組ずつに分かれてのタイムレースを 2 回。初参加のチームは、大きく蛇行の末に 1 回目は



地元の消防団チームが 2 連覇でゴール。

ゴールできないチームも。また、こちらも初参加の遠野市の「宮守町婦人会熟女チーム」は、遠野らしくお揃いのカップのかぶり物で参戦。キュウリを手に、奮闘しました。

予選を終え、上位 8 チームの準決勝、更に最後は 4 チームの決勝が行われ、白熱したレースが繰り広げられました。結果は、優勝が昨年引き続き地元田瀬地区の「コミックしようちや



カップの姿で初参加し、パフォーマンス賞に輝いた宮守婦人会熟女チーム。



どぶろくも販売されました。

#### 花巻と遠野の 屋台が初出店

当日は新たな試みとして、花巻市と遠野市宮守町の業者が出店協力しました。遠野市の宮守川上流生産組合は、野菜のジュースや、名物となっている「どぶろく」を販売。レースを終えた選手等がおみやげに購入していました。

# 猿ヶ石川流域ニュースファイル



間伐作業に挑戦する子ども。



ダム見学を終え記念撮影する参加者。

## 第2回マイリバー 猿ヶ石開催される

7月26日(土)～27日(日)、昨年になりに引き続き、第2回目となる「マイリバー猿ヶ石」が開催され、部分参加も含め30名が参加しました。

この行事は、親子で様々な体験を通じて猿ヶ石川流域の自然環境への理解を深めることを目的に、同実行委員会が主催。

田瀬ダム完成60周年記念プロジェクトの一環として行われた今年は、1泊2日の内容で、田瀬湖周辺を主会場に開催されました。

1日目は、田瀬振興センターに集合後、参加者はバスに乗車し、猿ヶ石川の上流にある遠野市内の国有



丸太を輪切りにしておみやげにした子ども。



発電所で電気実験を体験する子供達。

林へ移動。4グループに分かれ、森林管理署職員の手導で、ノコギリを手に間伐に挑戦。子供達は初めて握るノコギリに緊張しながらも、木を伐り倒していきました。また、間伐した後には、丸太を輪切りにしてお土産にする子ども。間伐した木で棒を作り、スイカ割りも行われました。

山林で昼食を食べた後は、バスで東和発電所へ移動。発電所では、発電の仕組みの説明を聞いた後、子供達が電気の仕組みについての実験を体験。その後、発電所の制御室や発電のタービンが回る部屋などを見学しました。

発電所の後は、60年という節目を迎えた田瀬ダムへ移動。ダムの役割について説明を聞いた後、いよいよ



ダム内部で説明に聞き入る参加者。

よ田瀬ダムの堰堤内にある監査廊へ。外は真夏の暑さでしたが、内部はとてもヒンヤリ。ゲートがある場所、職員が「壁の向こう側は湖の中ですよ」と説明すると、子ども達は不思議そうにその壁を見つめていました。

ダムをバックに記念撮影をした後に、キャンプ参加者は田瀬振興センターへ移動。テント設置や夕食のカレー作り。薪に火をおこして、飯ごうでのご飯炊きを行いました。



大きなコイを釣り上げ喜ぶ子ども。

1日目の最後は星空観察会。あいにくの曇り空のため、振興センター内で、とうわ野鳥の会の江越さん親子に、この時期の星について映像で見せていただきました。

2日目の朝は、突然の雨で始まりました。慌ててテントを撤収し、朝食のチャパティ(インドのパン)づくり。朝食を食べ終わる片付けを済ますと、バスで田瀬湖釣り公園へ移動。釣り体験を行いました。釣りが初めての子どもも、大きなコイを釣り上げ、嬉しそうでした。

釣り公園で昼食後は、田瀬湖の向い側にある東和B&G海洋センターへ移動。最初のうちは風が強いので、ボートで田瀬湖を遊覧。その後カヌー&ボート体験を楽しみました。



おじいちゃんとカヌー初体験の子供。

## 川再生に向けて 県立大と協働研究へ

前号(7号)でも紹介した「猿ヶ石川再生プロジェクト」。岩手県立大学地域政策研究センターの地域提案型地域協働研究に、田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会が申請していましたが採択となり、本格的に活動が始まります。

8月22日(金)には、岩手県立大学の鈴木正貴先生と同協議会事務局等で、柏木平地区～大出地区の川の現状調査を行いました。

今後は、地域住民が主体となった調査、ワークショップ、セミナーなどが予定されています。このプロジェクトはどなたでも参加できます。興味ある方は、事務局までお問い合わせ下さい。



砂の堆積が進む早瀬川との落合付近。

# 猿ヶ石川流域インタビュー



## 田瀬激流太鼓会長

多田 征三(ただ まさみ)さん

昭和 53 年花巻市東和町田瀬地区に生まれ育つ。北上市の岩手県立黒沢尻工業高校を卒業後、平成 8 年岩手東芝エレクトロニクス(株)に入社。田瀬小学校在学中に太鼓と出会い、小中学校を通じて太鼓にのめりこむ。平成 20 年に、田瀬小中学校時代に太鼓を演奏した仲間と「田瀬激流太鼓」を結成し、以後リーダーとして活躍。趣味は自動車に関すること全般。家族は 3 人の子ども、妻、父母、祖父母同居の 4 世代 9 人家族。36 歳。

### 田瀬の太鼓は 私たちの世代から

田瀬の太鼓の初代が私の学年なんです。私が小学校 5 年の終わり頃に、この地区に住んでいた「姫神」の星吉昭さんが、宮古市の太鼓グループの山口太鼓の指導者を連れてきて始まったんです。

当時の小学校の校長先生が、「子ども達に何かやらせたい」と考えていて、星さんがコンサートなどで山口太鼓と交流があった。最初に、児童生徒の他に地域の人も集めて、山口太鼓の演奏をしても良かったんです。

その演奏を見て、かなりの衝撃があったんですね。その時のことがあるから、今まで太鼓を続けているといっても良いかもしれません。田瀬の子供達の太鼓の名前が「清流太鼓」としているのは、実は山口太鼓の師匠である佐々木清さんの名前からも来ているんです。

最初のうちは太鼓もないので、椅子にタイヤを結

びつけて練習してました。そのうちに、地域の方々が寄付金を集めてくれて大太鼓と小太鼓を買って、6 年生の時の運動会でした。

### 学校の閉校から 激流太鼓の誕生へ

太鼓は、本当は小学校だけでやる予定だったんですが、うちの代は本当に太鼓が好きになっていたので、中学校でもやらせて欲しいとお願いをして、やることになったんです。

中学校を卒業してからは、太鼓の演奏からは離れていたんですが、田瀬の中学校が平成 20 年の 3 月に、小学校が平成 23 年 3 月に閉校することになって、「太鼓をどうする？」という話になったんです。それで、学校の卒業生で太鼓の会を作り、子供達にはスポーツ少年団という形で継続して指導して行くことになったんです。

これが、「激流太鼓」の始まりです。名前は、実は田瀬ダムの工事を題材にした映画『激流』からつけた

んです。あまり知られてないんですけどね。

### 子どもと一緒に 太鼓をやってみよう

現在、「激流太鼓」の会員は 15 名。田瀬以外の方も 2 名います。年間に地域のお祭りやイベントなど、10 回ほど公演しています。

太鼓は、体力も必要ですし、お客さんに魅せるため

の表現が難しいですね。これまで、3 曲オリジナルを作りました。代表曲が「やまびこ」で、田瀬の山々に響き渡る太鼓を表現したんです。

今後は、湖をテーマにした曲も作りたいと考えています。うちの長女も太鼓をやっているんですが、いつか一緒に子供達と大きい舞台で太鼓をやってみたいですね。



自然ウォッチング  
猿ヶ石川の野鳥  
File No. 8

ササゴイ(サギ科 全長:52cm)

猿ヶ石川流域で見られるサギの仲間には、アオサギ、ダイサギ、コサギ、チュウサギ、ゴイサギ、ササゴイなどがあります。ササゴイは夏鳥としてやってきます。アオサギと似ていますが、ふたまわりくらい小さく、主に夕方から活動し、川や水田で魚を捕ります。飛びながらキューまたはビューという鋭い声で鳴きます。(写真提供:とうわ野鳥の会)

## 猿ヶ石川流域インフォメーション

9/7

感動の再会をふたたび・・・

### 田瀬ダム移転者のつどい

昭和 29 年の田瀬ダム竣工から 60 年の歳月が流れました。昭和 59 年に、田瀬の横峰地区に「望郷躍進の碑」を建立し、再会に涙した時から 30 年。移転時に 20 歳だった若者は年齢 80 を数えます。「元気なうちに、かつての故郷で再会を果たしたい」と、地元田瀬地区の住民が中心となり実行委員会を発足。これまでに 5 回の実行委員会を重ねてきました。

実行委員会では、再会の交流会としての「移転者のつどい」の他、移転者名簿や移転前の地図と家屋写真の内容を含む「記念誌」と、「記念品」の配布も計画しています。また、建立から 30 年を経過した「望郷躍進の碑」も、この機会にきれいに磨くことにしています。実行委員会では、この事業のための協賛金も募っています。お問合せは下記実行委員会事務局までお願いします。

【日時】平成 26 年 9 月 7 日(日)午後 2 時～  
 【会場】田瀬湖つり公園「望郷躍進の碑」前  
 【内容】挨拶 / 「望郷躍進の碑」朗読 / 地元太鼓演奏 / 懇親会  
 【問合せ】田瀬ダム移転者のつどい実行委員会  
 (☎ 0198-44-5281 田瀬振興センター)



実行委員会にて事業を検討する委員。

9月下旬 予定

今年は宮守コーナーもあるぞ～！

### 田瀬のみのり祭り

毎年、田瀬地区のマツタケを代表とする産物の販売などで知る人ぞ知るイベントです。昨年も約 600 名の来場者があり、毎年楽しみにしているリピーターが多いのも特徴。

今年は田瀬ダム完成 60 周年を記念して、これまでに以上に盛り上がりそう。田瀬地区だけでなく、宮守地域の物産販売も予定。また、田瀬地区の 2 団体の太鼓演奏の他、宮守地区の郷土芸能も出演予定。60 周年を記念した展示もあります。

開催日は、例年マツタケの生育具合によって決められてますので、9 月中旬に決定されます。日程や内容等については、下記実行委員会事務局までお問い合わせ下さい。

【日時】平成 26 年 9 月下旬(予定)  
 【会場】花巻市東和町田瀬振興センター(旧田瀬中学校)  
 【主な内容(予定)】

開会行事 / 太鼓、郷土芸能  
 キノコ、農産物等の販売  
 かあちゃんの田舎食堂  
 まつたけご飯、まいたけご飯

【問合せ】  
 みのりまつり実行委員会  
 (☎ 0198-44-5281  
 田瀬振興センター)



物産コーナーは毎年大賑わいです。

9/21

とうわ野鳥の会の観察会に参加下さい！

### 川の生き物調べ

とうわ野鳥の会では、花巻市東和町を中心とした各地で自然観察会を開催しています。9 月は、県の環境アドバイザーを講師に「川の生き物調べ」を行います。東和町内の川に入り、川の中にはどんな生き物がいるのかを調べます。川の中には、様々な水生昆虫、エビや貝の仲間、魚など多くの生き物が棲んでいます。その川に棲んでいる生き物を調べることで、その川がきれいな川なのか、汚れた川なのかを知ることできます。親子連れでお気軽にご参加下さいませ。

【日時】平成 26 年 9 月 21 日(日)午前 8 時 30 分～12 時  
 【集合】東和コミュニティセンター駐車場  
 【内容】川の生き物調べ  
 講師：根子英郎(岩手県環境アドバイザー)  
 【持ち物】川に入り調査できる服装、長靴、飲み物、着替え  
 【参加費】100 円(保険料 / 高校生以下・会員無料)  
 【申込、問合せ】  
 とうわ野鳥の会 ☎ 0198-42-4725 (齊藤)

Q

「流域」という言葉の意味は何ですか？

川 豆 辞 典

A

「流域」とは、ある川が雨水や雪解け水を集めて流れるその地域一帯を指します。「猿ヶ石川流域」という場合は、空から降った雨が小さな沢から小川となり、やがて猿ヶ石川に流れる全ての地域という意味になります。具体的には、遠野市のほぼ全域から花巻市の旧東和町と矢沢地域の一部で、猿ヶ石川の流域面積は 958k m<sup>2</sup>です。ちなみに、日本一の流域面積があるのは利根川流域で約 1 万 6840k m<sup>2</sup>。世界一はアマゾン川の約 705 万 k m<sup>2</sup>です。

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会通信 Vol.8  
 「猿ヶ石川通信」平成 26 年 8 月号  
 発行日：平成 26 年 8 月 27 日  
 発行：田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会  
 ☎ 028-0123 花巻市東和町田瀬 39-1-3  
 ☎ 0198-44-5211  
 編集：一般社団法人いわて流域ネットワーク  
 問合せ：☎ & FAX 0198-64-2250 (千葉)  
 E-mail:pahaya@tonotv.com

その後は、一大イベントとなっている「みのりまつり」があります。田瀬の自然の恵みを味わいに、ぜひいらしてください。(千葉)

編集後記

田瀬ダム完成 60 周年を記念した夏のイベントが終わりました。ご協力いただいた各団体の皆様、お疲れさまでした。  
 さて、季節は巡り秋へ。60 周年プロジェクトも、いよいよ後半です。9 月 7 日には、ダム完成により移転した方々による「田瀬ダム移転者のつどい」が田瀬湖釣り公園にて行われます。再会に、田瀬地域の思い出話の花が咲くことでしょう。